

吟道館のコンクールあれこれ 知っていましたか？大事な事

吟題のこと

基本的に吟題を発声してから吟じ出しますが、もし吟題を言わないと、審査員各々から減点(-1点)されてしまいます。
※和歌は「和歌～」と発声します。

吟詠態度のこと

審査員は吟詠態度、服装も見ています。
審査員、また会場の方に自分の成果を聞いてもらうという場において、節度ある態度、服装を心がけましょう。

特に気を付けると良いこと

- ・あまり派手な服装、露出が多い服装はさけましょう
- ・手や頭など身体を大きく動かして拍子を取ることはできるだけ避けましょう
- ・ずっと眼をつむって吟ずることもできるだけ避けましょう
- ・足の幅の間隔は男性は肩幅位、女性はそれよりも狭い方が良いでしょう
※身体を安定させる事が大事ですが、開き過ぎに注意です
- ・詩文メモ
各コンクールの注意事項に準じます

「なるべく見ない」＝出来るだけ詩文を覚えて臨みましょう

※石童丸等 不安な時に手の中の小さなメモを1, 2回サッと見る事は構いません

「見ても良い」＝詩文メモは葉書大以下とし、顔の横でしっかり持つ

※支部対抗等 ※顔が隠れない様に注意する

※何度も頻繁に上げ下ろしする事は避けたい

※手の中に入る小さな詩文メモを用意しても良いが

何度も何度も上げ下ろしをしない様に注意したい

◎吟詠前後の礼は必要ありません

ただし詩の作者の真剣な想いを受け取り真摯に表現する、
またそれを真剣に聞き合う事が吟者としての努めです。

コンクールではスムーズな進行の為、吟詠前後の礼は割愛しておりますが、
心の中には常に「礼で始まり礼で終わる」が有るべきで、
出吟者も聞き手もお互いを敬い、礼を失わない精神が大事だと思います。

石童丸コンクールに関連する知っておいて欲しい大事な事

詩吟基本吟譜第三巻(P122)に記載して有る「石童丸吟譜について留意事項」より抜粋

- ・ここに示した吟譜は、二代小林心風の教材テープの節調を基本に示したもので、一応の標準としての位置づけである。特に込み入った節調については、分かり易さを第一とし、ある程度簡略的な示し方としている。
- ・初代小林心風の吟詠をはじめとする伝統的な吟じ方は、この吟譜と異なる部分が有るが、それらを否定するものではないことに留意する。(例:「いんぎん」で「#ファ」を使うなど。)
- ・石童丸コンクールのための稽古については、初代または二代のいずれの吟じ方を手本としてもよいが、両者を混同させないことが望ましい。

吟道館本部 令和5年6月

お知らせ

令和5年 6月 吟道館本部

I. 行事

令和5年行事予定

令和5年6月11日(日)	第60回石童丸東京予選	タワーホール船堀小ホール
6月18日(日)	伊勢崎吟詠会せいねん部発表会	伊勢崎市民プラザ
7月9日(日)	第60回石童丸千葉予選 <u>締切6月11日(日)</u>	野田興風会館
8月6日(日)	第60回石童丸決勝大会 <u>締切7月17日(月)</u>	日本橋公会堂
9月3日(日)	教師審査	吟道館本部
9月11日(月)	高段者発表会 <u>締切8月21日(月)</u>	日本橋社会教育会館8階ホール
10月8日(日)	第2回長詩発表会 <u>締切9月11日(月)</u>	日本橋社会教育会館8階ホール
10月29日(日)	支部長会議	タワーホール船堀303会議室
11月11日(土)	第65回支部対抗コンクール	タワーホール船堀小ホール

世の中の状況が少しずつ好転し、様々な行事が開催されるようになってきました。本部の周りでも4年振りの神田祭が実施され、久し振りのにぎわいが戻りました。今度こそ長く長く続いたトンネルを抜け出て明るい未来を取り戻したいものと強く希望致します。会員皆様には引き続き健康を第一に考えながら少しずつ詩吟活動の再開、継続に力を注いで頂きます様、御願い致します。併って少しずつ戻ってきた感の有る新しく習い事をしたい、久し振りに大きな声を出したいという一般の方のニーズの受け入れにも御力を振り分けて頂きます様、御願い致します。

6月の本部稽古でのマスク着用については各自の判断を尊重し、任意と致します

支部長皆様へ 10月29日(日)、タワーホール船堀にて久し振りの支部長会議を実施させて頂きたく思います。この間の詩吟活動の苦勞をしのび、またこの先へ向けた前向きな意見交換の場にしたいと思っております。御忙しい中と思っておりますが、御協力の程、御願い申し上げます。

①第60回石童丸コンクール

石童丸コンクール予定	6月11日(日)	石童丸東京予選	ターホール船堀小ホール	68名出吟	10時20分開始
	7月9日(日)	石童丸千葉予選	野田興風会館	締切6月11日(日)	
	8月6日(日)	石童丸決勝大会	日本橋公会堂	締切7月17日(月)	

出吟料 **4000円** 出吟資格 **四段以上** 出吟順序 **3部 2部 1部**

第1部70才まで 第2部71才～80才まで 第3部81才以上

※令和5年4月1日時点の満年齢を基準とする。

※今回の予選から吟詠開始後3分を知らせるブザーを取りやめます

※令和4年第59回のシード権を持っている方は予選免除の資格を有する。

(また、シード権者も場慣れの為、各予選に出場しても良い事とする。※その場合、出吟料は発生するが得点は付けない。)

石童丸勉強会 8月も実施

6月1日	木	13時	和歌まで	7月10日	金	13時	西を訪い～全文
6月30日	金	11時	西を訪い～全文	7月13日	木	11時	西を訪い～全文
		14時				14時	

定員は8名(一人での参加も可。最大8名で一緒に勉強するという事)

場所 **本部** 受講費用 **一人2千円** 講師 **四代心風**

好きな日程を選んで本部へ申し込む事(電話・FAX・メール)

・四段審査 今年も四代館長によるテープ審査と致します。※LINE等の音声データ送付も可。

課題 「壁に題す」「楓橋夜泊」「和歌 あさみどり」

要項 上記三題から1つを選びカセットテープまたは音声データに吟題から録音し、本部へ郵送(送付)。

※音声データ送付先はお問い合わせください。※受験者は所属支部長の了解を得る。

※コンダクターの前奏を使用する事が望ましいが、無くても可。※テープは返却しない。

審査実施期間 令和5年2月1日～6月30日までに届いたテープ及びデータを審査する。

費用 **四千円** 支払いは書留か振込

振込先 郵便振替 00140-2-760853 (有)六声社(リケイヤ)

審査結果はテープ・データが届き次第個別に審査し、1週間程度で所属支部長へ伝達する。

・免状発行について

初段から七段の免状発行は年四回とします(2/1付、6/1付、9/1付、12/1付)
師範・教師・八段については4/1付、10/1付。この様な時ですが、前向きに進みましょう。

長い歴史を誇るコンクールも新たな枠組みによる再出発が必要と判断致しました。下記新規定をよく御確認の上、不明な点は、どんどん本部までお聞き頂き、多くの支部の御参加で盛り上げて頂く事を心より願っております。課題吟「早に白帝城を発す」「城山」「和歌よもの海」

出吟料 4000円 申し込み締め切り10月16日(月)

新規定 出場資格 五段までとする
 出場人数 3人1チームは従来通り変わらないが3人そろわない場合は1支部2人いれば出場可とする ※但し、この場合は内1人が2種類を吟ずる事
 その際の出吟料は4千円+2千円 計6千円とする
 例=対象が4人いる場合は2人、2人で2チーム作っても結構です

注意事項・各支部何チームでも出場可とする。・詩文メモは見ても良い。(葉書大以下の紙を用意する事)
 ・以前の支部対抗で優勝している方は出場不可とする。

お稽古回数券 これまで大勢の皆様にご購入頂いております。本部に対する応援の御気持ちに心より感謝致します。本部教室での全ての稽古、師範会・教師研究会・石童丸勉強会に使用出来ます。

※6枚つづり10,000円※使用期限は有りません※情勢を鑑み引き続き継続して販売尚、納入頂いた代金は本部の運営維持に充てさせていただきます

本部師範会等、稽古について 引き続き各師範会を継続して実施します。
 また、今まで通りの個人での稽古、教師研究会の勉強も時間を合わせて受付けます。
 どうぞお問い合わせ下さい。・引き続きテープ郵送での教師研究会の勉強、吟力測定、通常テープ添削、オンライン授業も継続します。皆様の詩吟への変わらぬ意欲を期待しております。

令和5年10月8日(日) 日本橋社会教育会館8階ホール

第2回長詩発表会

10時開始～16時半終了予定

出吟料 2000円 ※コンダクター前奏のみ

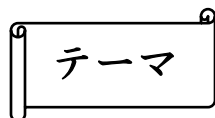
石童丸全文をはじめ、長詩を舞台で吟じてみよう ・八行以上、どんなに長くてもOK
 ・詩文は見ても構いません。吟じ切る事を目標にしましょう。

申込締切9月11日(月)※時間内に収まる人数で締切ります。御申込はお早目に。

令和5年9月11日(月) 日本橋社会教育会館8階ホール

高段者発表会

10時～16時予定



- 「**前進**」 強い意志、前向きな姿勢、信念を詠むうた
 また自分のやる気、新たな決意をかき立てる吟
- 「**自然**」 自然や風景の美しさ、雄大さを讃えるうた
 また景色にのせて懐いを表す吟
- 「**歴史**」 歴史の事実を主題とし、その懐いを詠んだうた
 また偉人、人物を讃えた吟

以上のテーマにそくしていると思う御自分の好きな吟を1つ選んで本部までお申し込み下さい。

対象：師範、教師、八段 課題：六行詩まで、又は3分以内の吟

出吟料：三千元(尺八伴奏付き) 締切：8月21日(月)

3人までの連吟、合吟も可。※その場合は八行詩まで(出吟料は同じ一曲三千元)

※出場最大人数90人程度。定員になり次第締切ります。

毎月第1木曜 13時 ※Ⅲ編教本の和歌を除いてページ毎に進んで行く
 初回は7月6日(木) 課題 枯野の旅(新Ⅲ3P)

※8月は時間に変更有り 8月3日(木) 11時 課題 春の曲(新Ⅲ6・7P)

定員は8名(1人での参加も可)。最大8名で一緒に勉強するという事)

場所：本部 参加費用：1人2000円 講師：四代心風

好きな日程を選んで本部へ申し込む事(電話・FAX・メール) 9月以降も実施

近代詩勉強会

三巻勉強会

三巻勉強会を再開します。三巻吟譜を味方に挑戦の幅を広げましょう。

・日時：毎月第四木曜 ・場所：本部教室 ・受講料：各回二千元 ・講師：四代心風

・時間：10時半～12時半の回 / 13時半～15時半の回※各回8人まで(先着登録制)

6月22日(木) 課題 結婚式 (三巻12P)

7月27日(木) 課題 静御前 (三巻13P)